

酷暑到来、暑さにお気をつけください

デイサービス八重桜本店

「ご家族に送る絵手紙作り」 七月八日

レクリエーションで、夏に因んだスイカや海、金魚などの絵を使って絵手紙を作りました。個性的な色を塗ったり、誰かに宛てて文字を添えたり、一人ひとり様々な絵手紙を作っておられました。真剣な顔で慎重に色を塗っておられる方、笑顔で文字を添えられる方、皆様が頑張っておられた、世界に一つだけの手作り絵手紙が出来上がりました。



「みんなも参加して音楽セッション」 七月十日

今月も音楽セッションの方に来ていただきました。飛び入りでピアノを弾いてくださる利用者さまや皆の前で歌を披露してくださる利用者さまもいらっしゃいました。全員が楽しめるようにマイクを持って回ったり、道具を配ったりと、みんな笑顔で音楽を楽しんでおられました。最後にみなさまとお馴染みの「ふるさと」を合唱して終わりました。私たち職員も皆さんの笑顔で元気をいただき一時間もすべに過ぎていってしまいました。



「恒例のセタコンサート開催」 七月二十一日

毎年恒例となったセタコンサートですが、今回もBONNの皆様に来ていただきました。途中で口の体操を挟んだり、「しあわせなら手をたたこう」の歌に合わせて手や足、肩や顔も動かしたり、手を上げて身体を揺らしてくださる御利用者様もいらっしゃいました。女性ボーカルの方はその美貌から出るとは思えないほどの力強い歌声で、曲調に合わせて時には優しい歌声で、つい職員までひきこまれてしまいました。男性ボーカルの方も楽しいトークや素敵な歌声を披露してくださいました。いつもながらの素敵なコンサートでした。ご利用者様も満足された様子で、職員も皆様と一緒に楽しませていただきました。



馳せ走る 食の匠 のひとりごと

夏魚

西 勝康

夏の魚といえばスズキ、カレイ、アマダイ、ヒラマサ、いさぎ等々どれも美味しい魚ばかりです。捌きが少々下手でもそれなりに食べられるのですが、何と言っても捌き手を選ぶのが鯉ですか。骨のあたる鯉の落としは頂けません、熟練の職人の骨切りで供される「落とし」は京都の夏の風物詩です。

砕いた氷の上に盛り付けられた白い華の咲いたような鯉の落としに穂紫蘇のあしらい、小付けに梅肉と想像するだけで垂涎ものです。昔、老いた母の仰臥位の介助をした時「やっぱりお前にしてもらうのが上手やから一番ええわ」と言われたことを思い出し、何事も上手でないとなすいものかと。鯉の骨切りから随分な飛躍ですが。

デイサービス八重桜 平城

【憧れのハワイアンバンド】 七月十九日



情はとも穏やかで歌詞は忘れていても気持ちはその時代に帰っていました。

【楽しい工作の日】 七月三日

今日は涼しげな海の生き物を作りました。青・赤・オレンジ・黄色など色とりどりの紙を利用者が器用に折り曲げていきます。時々隣の方の作業を覗き見しながら金魚などを作っていく姿はとても楽しそうな感じでした。画用紙一面に出来上がった魚が埋まっていく過程は、まるで本物の水族館を再現していくようです。利用者様の作る作品はとても個性的で、わざわざペンを使って目鼻を書き足す方もいらっしゃいます。私たち職員はそれぞれの皆様の個性にあった介助・介護を心掛けようこの工作を見て改めて思いました。



【お誕生日会】 七月十四日

人生百年と呼ばれる時代になりましたね。平城館でも九一歳の女性の方が今日元氣にお誕生日を迎えられました。職員一同ともうれい気持ちでいっぱいです。身体は少しご不自由ですが気持ちはとても若く、スタッフとの会話でも冗談交じりの楽しい返事を返していただいています。職員手作りのバースデー色紙を真ん中に、満面の笑顔の写真が撮れました。歳を取ることがいろいろ話題になる昨今ですが、この世代の方々の苦勞がなければ現在の私たちの暮らしもなかったと思っています。長生きをして良かった、楽しかったと、そう感じていただけるような寄り添った介助、介護を意識して仕事に励みたいと思います。



低料金、低資産

それでいて人生百年時代

歳と共に体力も弱り、気が付けば一人暮らしになっていて要介護認定もでた。今の日本の高齢者施策では、なかでも低所得、低資産の人々が快適で安心な生活を望むのは無理なのでしようか。先の長い老後人生を、限られた年金収入と貯蓄で生き抜けるかどうかは生活費を如何に低く抑えるかによります。

桜の広場

そこで八重桜は提案します。高齢者の集合住宅が前提になりますが、施設の運営事業者と入居利用者が手を携えることで老後資金の減少を和らげることが可能になります。その心は「自助」「共助」「互助」にあります。「自助」は身の回りのことは概ね自身でするし、できる軽度要介護者に特化することで人件費の縮小を、「共助」は、介護保険制度の活用で家

賃、管理共益費を極小化するために介護報酬を利用させていただく、更に「互助」は施設内でのサークル活動や、食事会など交流の活性化を計り、通い合う気持ちを醸成して、日常的な楽しみを、お金を掛けずに作る。そしてさらに施設の食堂では原価率を上げて、安く値打ちのある食事を提供する。以上のことをすれば月額七〜八万円です。それが我田引水ですが今建築中の「L・ファミリーア八重の家」なのです。国や自治体の施策の不備不足をあげつらう前に、事業者と利用者が共に知恵を出し自助努力を重ねたうえで既存の制度を最大限に活用すれば乗り越えられることもあると思います。

西 勝康

今月の名言格言

空は落ちてこない

山より大きなイノシシは出てこない

田中 角栄

「私の思い」



有井 ますみ

私は八重桜に勤めて、三年になります。介護の仕事をするようになったのは、人が好きで年配の方に寄り添い社会に貢献したいと思ったからです。人生の先輩に教わることで多くあり

ました。特に成功談、失敗談をしてくださり、同じ失敗を私にさせないように教えてくださいました。また、十人十色という言葉通りに色々な経験を聞き、自分と比べる機会を与えてくださり、自己を知り、磨くことをし、「こんな人になりたい」と良い目標になる方がたくさんできました。

色々な勉強や実務を重ね、人に教わり、自分を客観視できる介護員でありたいと、心からそう思います。

日々の仕事の中で、一番大切にしている事は、人を尊敬し、尊重すること、それは利用者様だけでなく、同じ現場で働くスタッフもです。職場の先輩後輩にも丁寧な言葉遣いで、気持ちよく仕事ができる環境作りにも積極的に取り組んで参ります。困っている人がいたら、すぐに「どうしましたか？手伝いしましょうか？」が自然に言える環境を作りたい、継続できるようにしたいと思います。

まだまだ成長していきたいと思っておりますので、これからも皆様と明るく仕事ができるように頑張っていきます。一日一日、目配り気配り心配りを忘れず、「初心を忘れず」、精進して参りたいと思います。

俳句教室発表句

(敬称を略します)

かき氷 食べるときには 身体冷え

豊田 レイ子

身体が冷えるのについつい食べたくなりますよね

風鈴の元 メロン食べてる 子供たち

繩井 美法

この季節のメロンはとっても美味しいですよ

草むしり 汗を流して 昔かな

丸谷 正子

草むしりをして、汗を流す風景が目につかびます

海遊び 友と共に 相撲を取り

矢野 晴美

青春のひと時、友情が熱いです。まるで夏のように

野辺に咲く 姿うるわし 半夏生

倉司 壽代

野の花が田植えを終えた人々を労っているようです

浜名湖の ウナギで 今年も元気だし

西村 和子

こここのウナギを食べたら夏を乗り切れますよね

梅雨長し 青空待つも 遠からず

大城 聖三

早く暑い夏が来ないかな…



令和2年3月オープン予定

ファミリーモア八重桜 平城館

L・ファミリーモア
八重の家



JR 平城山駅前